

のアークホテル岡山において開催した。

屋駐屯地田中司令、自衛隊岡山地方協力本部佐藤副本部長、岡山県隊友会福田会長、そして今回は特に、「自らの足で歩き、郷土の歴史に触れる」をテーマに活発な活動を行っておられる吉備の国巡礼ウオーク実行委員長三宅雅氏並びに岡山

のアークホテル岡山において開催した。

一定時総会

参加者は、従前会員2名、元自衛官15名で、午前10時半、前川事務局長代行の開会の辞に続き国歌斉唱、続いて戦没者、殉職自衛官、平成30年度逝去された6名会員の方々に黙祷を捧げた後、陸自66期永岑会長が開会の挨拶を行い、議事に入った。

議案は、平成30年度事業実施報告、同

収支決算報告、監査結果報告が承認された後、令和元年度事業計画並びに予算計画について審議し、滞りなく承認された。また、会員の異動に伴い若干の役員の変更を審議したが特に異論はなく原案通り承認された。

岡山県偕行会の最大の課題は、会長が挨拶の中で触れたが、従前会員の減少傾向が続くこと、そのため年月とともに会の本来固有の姿・精神を喪失する恐れが大きいことが懸念されることから、今後の主力となる幹部自衛官会員に対し、従前会員の戦友である戦没者に対する思いに至り、それを受け継ぎ、偕行会の歴史、伝統の継承を更に深める必要性を徹底することが重要であるとの認識で一致した。

二 懇親会

懇親会は、12時15分から、場所を移し御来賓の5名の方々をお迎えして総勢22名で開催した。御来賓は、岡山市の三軒

まず、全員で記念撮影をした後、永岑会長の挨拶、御来賓の御祝辞を頂いた後、祝電披露、偕行社参拝で陸自60期代表の鳴海理事の乾杯で幕を開けた。

その後、和やかな懇談の中で、会員の自己紹介、近況報告等が行われ、相互に現況を報告し合った。

そして、今回初めてお出で頂いた吉備の国巡礼ウオーク三宅実行委員長による講演を頂いた。三宅氏は、現在公益財団法人「大原記念倉敷中央医療機構」にお勤めの理学博士で、講演の内容は「予防」と題した今後確実に重大な問題となる、自然災害・超高齢社会・この国のあり方という三つの観点から見た問題の局限化のための予防措置等について興味深いお話を頂いた。

また、吉備の国巡礼ウオークについて紹介され、当会の永岑会長、角南副会長が毎回参加していることから、歴史に触れるというテーマの元、各地に点在する

忠魂碑、慰霊碑等の慰霊顕彰を合わせて行っておられ、当会の趣旨と一致するので、当会会員からもその活動範囲を岡山県全域に拡大して頂くよう要望もあり、今後、さらに緊密に連携していくことを確認した。

次に、岡山県戦没者顕彰会・英霊にこたえる会岡山県本部の森事務局長から、会の活動の概要等について説明を頂き、当会としてもその趣旨に賛同し、今後英霊にこたえる会の各種行事に積極的に参加していくことにした。

最後に、全員で「陸軍士官学校校歌」「自衛隊歌 この国は」を合唱した後、岡山県隊友会福田会長の首頭で万歳三唱をし、来年の再会を約して散会となった。

(広報担当理事 陸自81期 網島俊昭)



岡山県偕行会

令和元年度定時総会

岡山県偕行会は、去る6月29日(土)午前10時半から午後2時の間、岡山市内

